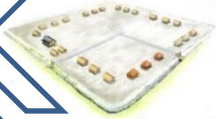




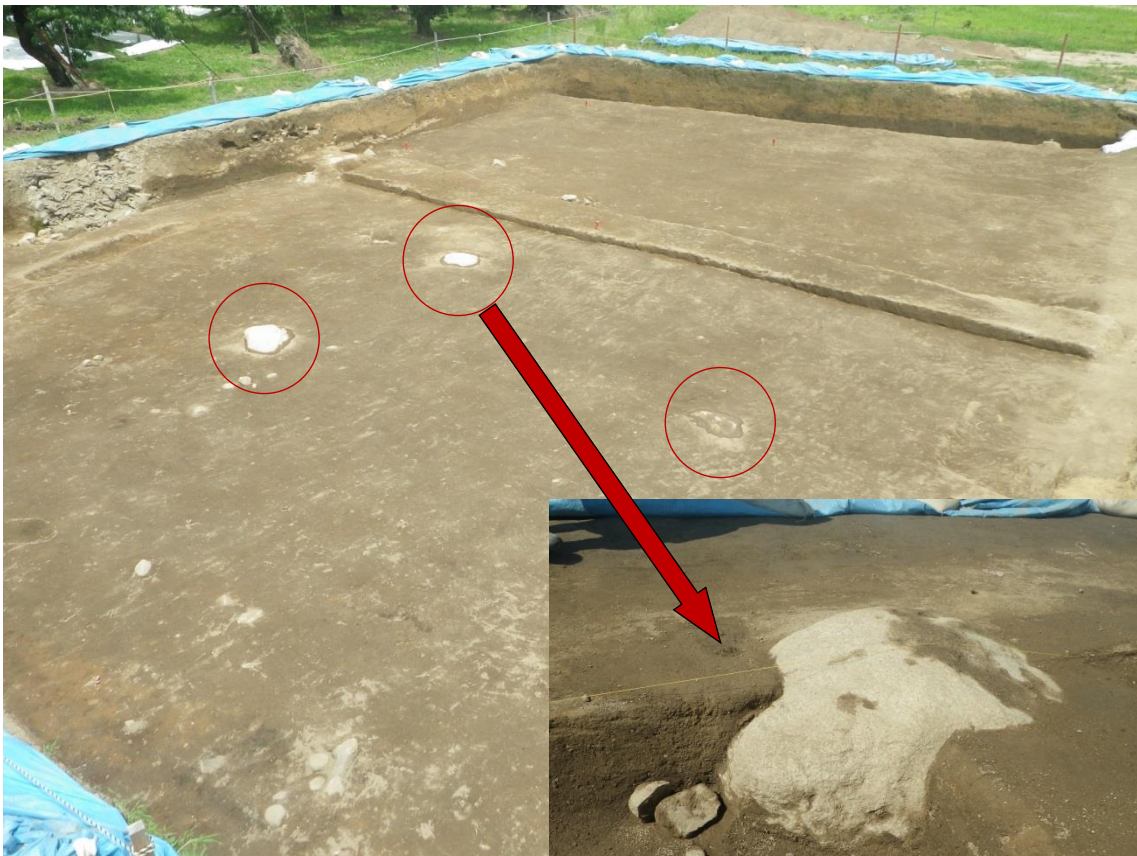
# 恒川 NEWS



## ついに礎石発見か・・・！？

今次確認調査が始まり、早くも5カ月が過ぎました。秋の爽やかな風を感じており、ようやく暑さから解放された気持ちです。

そんな中、先日ついに「礎石<sup>そせき</sup>」をいくつか発見しました。「礎石」は建物の土台となり、柱などを支えるものです。つまり礎石があるということは、その上に建物があつたことが想定されます。また、同調査区内では礎石発見の少し前に瓦片<sup>かわらぶき</sup>2点も見つかっています。これらのことから、瓦葺<sup>かわらぶき</sup>の建物が現在の調査区内もしくは調査区付近にあつたことが想定されます。



礎石検出状況

礎石アップ(石の直径1m弱)

# 礎石のはなし

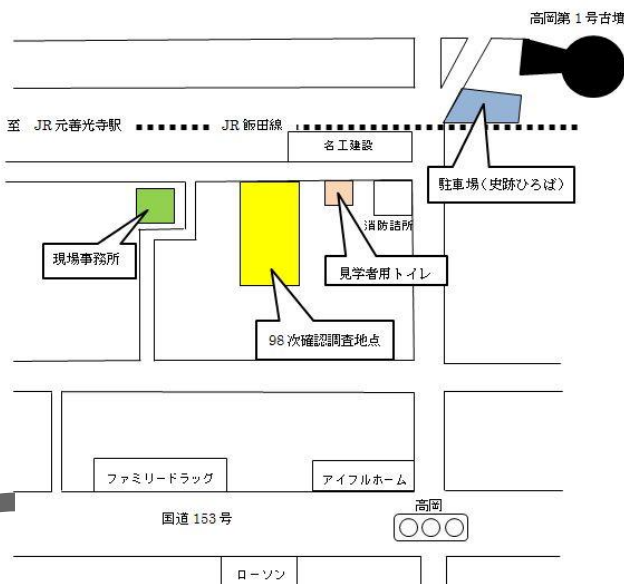
「礎石」とは、先述したように建物の土台（基礎）となり、柱を支えるためのものです。礎石を使って建てる建物は「礎石建物」と呼ばれ、その歴史は古く、仏教伝来とともに中国・朝鮮から伝わった新しい技術でした。恒川官衙遺跡にみられるように、古代には寺院や役所で広く使われた工法でした。

建物には、よく「定礎」というものが刻まれているものを、多くの方が一度は見たことあると思います。この「定礎」というものは、本来建物の土台となる「礎石」を定めるものでしたが、明治時代以降の西洋近代建築の影響により礎石を使用することが少なくなったため、建設に際して埋め込まれる記念プレートを「定礎（定礎板）」と呼ぶようになりました。

現代の「定礎」は、その建物自体のタイムカプセルのようなものなのです。



飯田市役所の定礎



発掘調査を行うにあたり、近隣の皆様にはご不便およびご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を頂きますよう、よろしく申し上げます。

毎日現説開催中！

- ・平日 10 時～15 時（土日祝は休み）
  - ・現地で直接調査員が解説します。
- ※都合により行えない日、時間などがあります。ご了承ください。

史跡恒川官衙遺跡調査速報 11 (通算No.11)

平成 30 年 10 月 日発行

調査担当者：福井優希・澁谷恵美子

飯田市教育委員会

生涯学習・スポーツ課 文化財活用係

TEL：0265-22-4511（内線：3756）

FAX：0265-22-7969

E-MAIL：bunkazai@city.iida.nagano.jp

HP：https://www.city.iida.lg.jp/site/bunkazai

